

学校 かしく(よく考える子)  
教育 なかよく(たすけ合える子)  
目標 元気よく(たくましい子)



# 送電線

玉村町立上陽小学校  
平成30年度32号  
2019年01月11日発行

## 子供たちの「未来を生きる力」を育む

～2018年から少しずつ取り入れて部分的に実施しています。2020年から全面实施します。～  
上陽小学校でも「新しい学習指導要領」がスタートしています

子供たちはこれから、情報化やグローバル化の進展、人工知能の飛躍的な進化など、夢や希望に満ちた変化の激しい時代を生きていくこととなります。

学校や社会は、子供たちが新しい時代をたくましく生き抜き、未来を切り拓く力を育む必要があります。そこで学校では、新しい学習指導要領の下、次の3つの力を育てています。

そもそも……

### 「学習指導要領」って何？

教科などの目標や大まかな内容を国が定めたものです。およそ10年に1度見直されています。

### ①知識及び技能 ②思考力・判断力・表現力 ③学びに向かう力、人間性

これらの力を育てるために、次の2点に重点をおいています。

#### ポイント1 ■「学校・家庭・地域」で子供を育てます。

これまで以上に、学校・家庭・地域の連携・協働を広げ、深めていきます。学校・家庭・地域が目標を共有し、力を合わせて子供たちに力を付けさせることができますようにします。

#### ポイント2 ■3つの「学び」で授業を工夫します。

- ①主体的な学び……例えば、興味や関心をもつ、見通しをもつ、粘り強く取り組む、学習を振り返る……など。
- ②対話的な学び……例えば、意見交換をする、議論する、様々な考えに触れる、自分の考えを広げる……など。
- ③深い学び……例えば、自分で問題を見つける、知識を組み合わせる、新たな知識を生み出す……など。



### ☆もっと具体的に……例えば、こんなところも変わりました！

#### ■「英語」を早く始めて、教科にします。

小学校での英語は、英語に慣れ親しみ、学習への意欲を高めるとともに、中学校での学習に無理なくつなげることがねらいです。

※1～4年生では、「聞くこと」「話すこと」を通して英語に慣れ親しむ外国語活動(週1コマ程度)

※5・6年生では、外国語活動に「読むこと」「書くこと」を加えた外国語科(週2コマ程度)

#### ■「道徳」を教科にしました。

授業のテーマ(例えば、「思いやり」や「規則の尊重」など)を子供たちが自分のこととして考え、友達との話し合い中で様々な考えに触れることで道徳性を育てています。

※「特別の教科 道徳」を新たに位置づけています。(週1コマ程度)

※教科書を使います。(教科書の最初から最後まで順番に学習するわけではありません。)

※学年末の「伸びる芽」に文章での評価を追加します。(授業のテーマについて「自分のこととして考えられるか」「多面的・多角的に考えられるか」などを評価します。この評価は、子供の成長を認め励ます評価です。子供の道徳性を他の子供と比べる評価ではありません。)